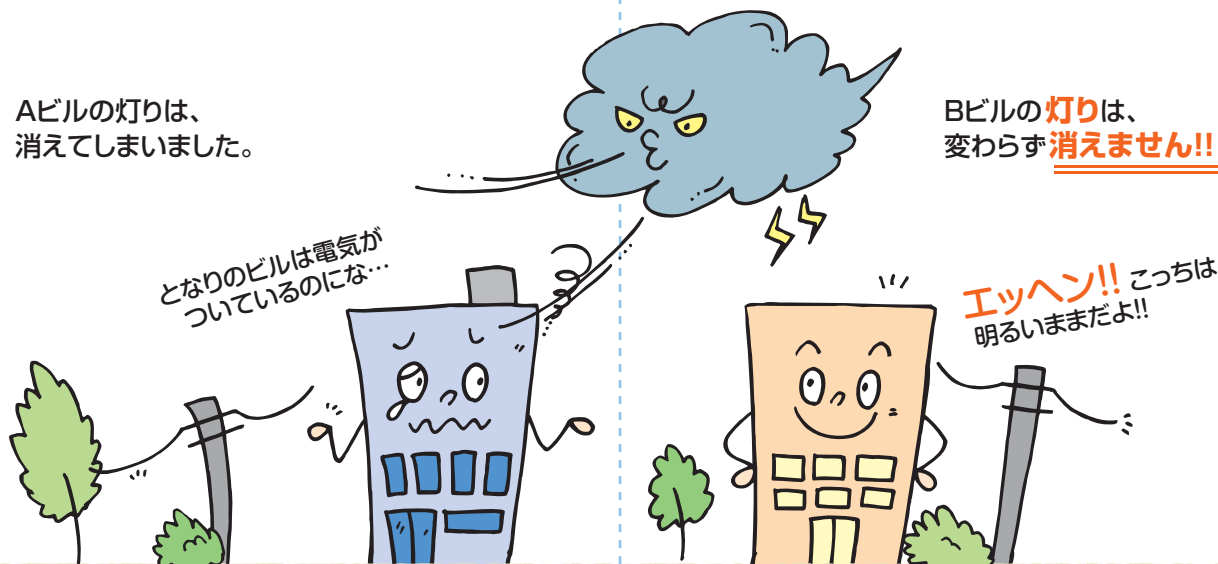


非常用予備発電装置の点検・整備のご案内

「もし、配電線が停電になったら…」(台風の日AビルとBビルの場合)

Aビルの灯りは、
消えてしまいました。

Bビルの灯りは、
変わらず **消えません!!**

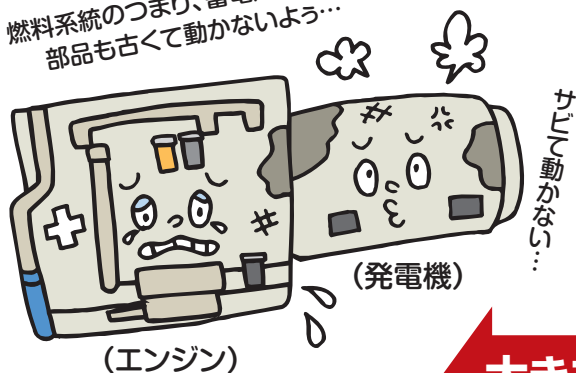


この違いは「なぜ」...???

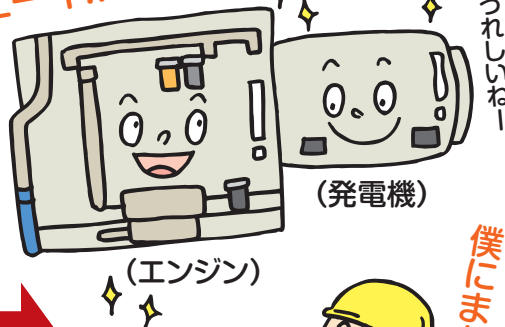
発電装置の点検・整備を行ってなかったからです...

発電装置の点検・整備を充分行っていたからです!!

燃料系統のつまり、蓄電池の劣化...
部品も古くて動かないよう...



イエーイ!! ピカピカだあ!



大きな差が
でます!!



■非常用予備発電装置は…いざ!! という時が出番なのです!!

- 停電になったときなど「イザ!」という緊急の場合に、確実に動かなければ役に立ちません。
- 運転時間は短いですが非常時に作動するので、定期点検や経年劣化する部品の交換が大切です。(消防法では年2回の保守点検が義務づけられています)